

オハイ・頂山（397・9m）

日 程：2025年4月27日（日）晴れ

メンバー：CL；S、SL；do-yan、会計；F、記録；Y（K）、以下シリウス班

F（K）、記述者；do-yan

行 程：民宿7:00→7:35 九鬼コミュニティーセンター→7:49 登山口→9:55 オハイ
→11:35 ハカリカケ岩→12:20 頂山山頂→13:20 九鬼コミュニティーセンター

前日の八鬼山縦走を終えて宿泊した民宿を朝7時に出発し、尾鷲市九鬼町の九鬼コミュニティーセンターへ。すでに多くの登山者で駐車場は満車状態。人気の高さがうかがえます。けい子さんの山の家に立ち寄って観光案内をチェックした後、登山口へ。今回目指すのは、神秘的なブルーが広がる「オハイ」と、その先の「頂山」です。原生林を進み、途中で立ち寄った「あばば（網干場）」ではかつての小屋跡が静かに佇んでいました。やがて視界が開け、美しいオハイブルーの海が眼下に広がる瞬間は、思わず息をのむほど。この海の美しさは、何度訪れても感動的。登山の疲れも吹き飛びます。

オハイを後にし、次は頂山へ。ここからが急登の連続。息を切らせながらも登りきると、分岐から「ハカリカケ岩」へ寄り道。ここから見える尾鷲の海は圧巻で、達成感もひとしおです。昼食を挟んで頂山へ。頂山の山頂は展望こそありませんが、ピークに立つ満足感は十分。巻道を通して無事下山しました。

下山後は熊野の名勝「鬼ヶ城」へ立ち寄り、迫力満点の奇岩群と海岸の風景を堪能。山と海、両方の魅力をたっぷり楽しんだ一日でした。

前日の八鬼山に続き、この日も快晴に恵まれ、思い出に残る山行となりました。自然の美しさと登山の達成感、仲間との笑い声が心に残ります。

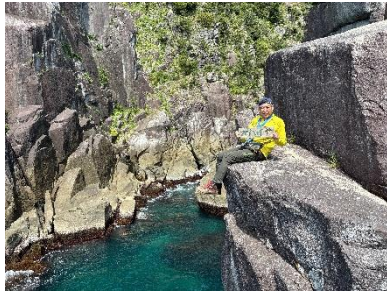
「オハイブルー」をまだ見たことがない方、ぜひ一度この絶景を体験してみてください！



オハイの海



オハイブルー



岩の上で



←展望のない頂山山頂



鬼ヶ城

